

教職員の皆様へ

教育センターだより【 1 1 号】

令和元年 11月19日発行



518-0485

三重県名張市百合が丘西5番町25番地

事務室・教育よろず相談 1F

Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802

E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.mie.jp

minakuru01@nabari-mie.ed.jp

ホームページ <http://www.nabari-mie.ed.jp/minakuru/>

適応指導教室（さくら教室）2F

Tel 0595-63-7830 Fax 0696-63-7830

E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp

学校ボランティア室 1F

Tel 0595-64-8864 Fax 0595-64-8802

名張市小中学校音楽会

小学校の部 10月25日(金)・中学校の部 11月7日(木)

10月、11月の2回にわたり、小中音楽会が行われました。心地よい緊張感の中で、小学校も中学校も、それぞれの学校がしっかりと練習の成果を発揮することができたように思います。同時に、教室や体育館とは違う、特別なステージで、多くの人の前で歌うという経験は、本当に良い思い出となり、今後いろいろな活動や取組をしていく上での自信にもつながったのではないのでしょうか。1人ひとりが精一杯やる、そのエネルギーをなかまとともに結集する、その達成感や連帯感をこれからもいろいろな場面で活かしていってほしいと思います。

小学校の部では、午前も午後とも終始感動する歌声が聴かれました。どの学校も人数の違いはあるものの、それぞれの個性を活かし、合唱だけでなく、太鼓やリコーダーの合奏など、一生懸命に演奏できました。

また、聴く態度も「さすが5年生」といった感じで、しっかり各校の演奏を聴き、大きな拍手で互いを讃え合う姿は、音楽会全体の雰囲気を一層素晴らしいものにしてくれたように思います。この音楽会を観ていると、5年生の私たちは高学年として日常的にそれぞれのお学校で良いお手本となり、リーダーシップを発揮しているのだという確信をもつことができました。



小学校全体合唱

中学校の部では、中学3年生らしい迫力で、5校それぞれが練習の成果を発揮しました。最初の上島教育長の



中学校全体合唱

言葉にもあったように、「中3になって初めて市内の同級生全員と同じ時間・場所を過ごす」機会でもあり、互いの合唱を非常に興味深く見入る様子うかがえました。卒業式まであとわずかとなり、3年間または9年間を

共に過ごした仲間たちとの繋がりを感じながら、本当に気持ちのこもった素晴らしい合唱となりました。卒業式でも、今日の経験を生かし、各校に自分たちの気持ちをこもった歌声を残してくれるものと期待します。

若手教員スキルアップ研修 津市立新町小学校 中林 則孝さん

11月15日(金)は、「日常授業の充実を目指して～教科書読解、習熟学習、全員参加の授業～」というテーマで、中林先生にご講義頂きました。教材研究の仕方や、授業の中での教師の出場・出方などファシリテーション等について、先生のご経験や、実際にご覧になられた授業の例をもとに、詳しく話してくださいました。準備された資料にも、実際の教師と児童との授業内でのやりとりが詳細に示されており、「なるほど、確かに。」と納得したり、「自分もそういう所があるな。」と課題に気づいたりするなど、本当にたくさんの情報や考え方に触れることのできる機会となりました。大変充実した資料もいただきましたので、参加した先生方から還流していただくのも有意義かと思います。



自主研修講座 「プログラミング教育」「ケースカンファレンス」に続き、

2学期から「通級教室」「小学校外国語教育」の自主研修講座が始まりました。各講座とも第1回で参加者を登録させていただきましたが、今後についても途中参加が可能ですので、興味のある方はぜひ教育センターまでご連絡ください。



お待ちしています。



もみじのつどい 中間報告

～赤中・桔中・南中ブロック～

10月21日(月)は赤中ブロック、29日(火)は桔中ブロック、30日(水)は南中ブロックで、「もみじのつどい」が行われました。赤中ブロックでは、輪投げや的当て、釣りゲームなどのブースを作り、それぞれの場所で楽しめるよう工夫した交流が行われました。桔梗中ブロックでは1年生優勝クラスの合唱の発表、南中ブロックでは段ボール箱での空気砲作りなど、ひとつひとつの活動に熱中しながらも、互いに親睦を深めていくことができました。どのブロックもじゃんけん列車やバルーン遊びなど、次々と退屈させない展開にみんな盛り上がっていました。



※11月に行われたブロックについては次号で報告します。

来年度より中学校でのiPad導入に向けて

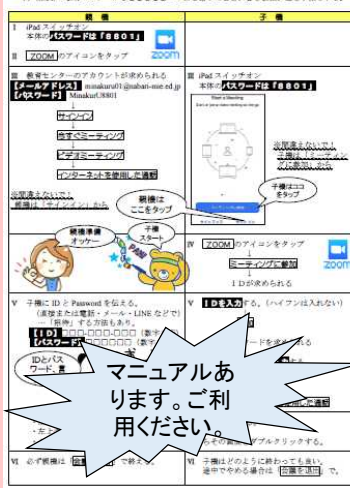
来年度より、市内中学校全てに各
校の1学級最大人数分のiPadが導入
されます。すでに、小学校では活用
されており、小中連携や国際交流な
どにおいても実践している学校も多
数ありますが、今回は教育センター
と連絡をとりながら実践した北中学
校の例を紹介します。また、10月25
日には、名張中学校の英語クラブで
もオーストラリアの学校との交流を
行ったようです。それぞれ学校の特
色や行事などに合わせて、いろい
ろな試みをしてはいかがでしょうか。



10月3日(木)の昼
休み、北中学校では2年
生の修学旅行先(班別活
動)の3カ所と北中学校
体育館を「ZOOM」を使
って四元同時中継を行いま
した。修学旅行の様子を
伝えたり、学校にいる生
徒から質問するなど、宮
島から中継する総合MC
のO先生の進行のもと、
お好み焼き体験や三島食品での研修など各場所
と連絡を取り合う様子が画面に映し出されなが
らやりとりをすることができました。北中学校
の体育館にも大勢の人が集まり、1年生は来年
のことを思い描いたり3年生は昨年を懐かしが
る様子も見られました。iPadの貸し出しに加え、
ZOOM使用のお手伝いいたしますので、ぜひ
教育センターへ声をかけてください。

【センター版】web会議ツール「ZOOM」の活用

●参加者のiPadを準備し、接続を1台設定する。
※(図解) 教育センターから①②③④の5台を借りた場合、②を接続、他を予備とする。



今さら聞けな
い。教えて、
パールソン!

オッケー

シリーズ第4回

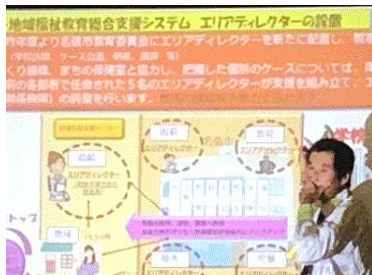
Q: 道徳の評価について調べている
と、「ポートフォリオ」という言葉
をよく見かけるんだけど、それって
何なの? ポートフォリオってどう
やって評価に使うの?

A: ポートフォリオっていうの
は、自分が学んできたことの蓄
積を保存していくもので、それ
らを全て残したり評価したりす
るのではなく、その中でも学習
成果のあったものを取り上げて
いくための材料とするためのも
のです。もちろん、この方法は
道徳以外の教科でも有効となる
し、教師が評価するためだけで
なく、学習者自身が自分の学び
を振り返ったり成就感を持たり
することにも大きく関わります。
特に道徳の評価は記述式で
すから、子どもの記述の中で成
長が見られた部分、自分なりの
考えや他者との関わりで気付い
たことに関する部分をしっかり
取り上げることによって、教師
の主観だけでなく、より正確な
評価(より正確に子どもの成長
を見ること)ができるはずです。
記述内容が曖昧な子どもたちの
ために、ワークシートなどの質
問の中に、そう考えた理由や今
後に役立つようなことなどの問
いかけを含み、より具体的なふ
り返りができるものとするのも
1つの方法です。

3学期にもセンターCafé
を予定しています。

三重県適応指導教室連絡協議会 in NABARI 10月11日(金)、

名張市教育センターで、県内(主に中勢・北勢地区)の適応指導教室の職員で
ともに研修し交流する場が設けられました。午前中は、名張市教育委員会より
大杉指導主事の講演、昼食後は山田忍カウンセラーの講演と交流の場があり、
充実した一日となりました。



大杉指導主事は、名張市の現状について触れ、その中でどのような組織と連
携し、未然防止・初期対応・自立支援のそれぞれの段階に対応しているのか
など、具体的に説明されました。同時に、校内での支援体制の充実として、Q U
実施や「チーム学校」としての各校の取組についても紹介されました。

山田カウンセラーは、「聴くということ」という演題で、カウンセラーの立場
から多くの事例をもとに豊富な経験の中から興味深いお話をたくさんして下
さいました。その中で、「話を聴いてあげるのではなく、聴かせてもらうという
姿勢」によって相手との距離を縮めることなどについて語ってくれました。

また、昼休みには、さくら教室の子どもたちで、わかめと豆腐のみそ汁やキ
ャラメルを作っておもてなしをしました。

それぞれの地域で、その実情に合わせた対応の仕方や支援のための取組が交
流でき、名張市の適応指導教室の今後の在り方についても大いに研修できる有
意義な1日となりました。

センターCafé レポート



第4回・第5回と人数も増えてきています。
みなさんもぜひネットワーク拡大を。

第5回
は12名
参加。

学校でふだん頑張っていることや自分が考えて
いることなどを気軽な雰囲気でお話できました。
これまで苦労したことや、失敗したこと、後悔し
ていることなども、今は教訓となり、それらを笑
顔で話す互いの様子は、その経験自体が自分自身
のことにおきかえた勉強にもなるし、「その時そ
の場面で一生懸命やってきたことは、全てが良い
思い出ともなっているんだな。」と改めて感じる
ことができました。3学期もよりネットワークを
広げるため、ぜひセンターカフェへお越し下さい。